

令和4年度  
劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
成果報告書

団 体 名	公益財団法人三重県文化振興事業団	
施 設 名	三重県総合文化センター 三重県文化会館	
助成対象活動名	公演事業	
内定額(総額)	18,880	(千円)
公演事業	18,880	(千円)
人材養成事業	0	(千円)
普及啓発事業	0	(千円)

(1) 令和4年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	三重県文化会館 Produce シリーズ	7月～3月	出演者：辻彩奈&阪田知樹、中川賢一、小菅優 ほか	目標値	2,094
		大ホール		実績値	1,665
2	太田弦指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団	12月4日	出演者：ピアノ/亀井聖矢 曲目：チャイコフスキー/交響曲第5番 ほか	目標値	929
		大ホール		実績値	1,033
3	沼尻竜典指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団	3月12日	出演者：チェロ/宮田大 曲目：ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」 ほか	目標値	929
		大ホール		実績値	1,343
4	ハンガリー国立歌劇場 オペラ「魔笛」	10月28日	出演者：ルツィエ・カンコヴァー ほか	目標値	739
		大ホール		実績値	921
5	東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」		※申請取り下げ	目標値	670
6	新春 茂山狂言会	1月14日	出演者：茂山千五郎 ほか 演目：「鬼瓦」 ほか	目標値	546
		中ホール		実績値	390
7	さんぴんドリーム夢街道★夏祭り巡業 2022『ALL TIME HERO'S ～東西南北プチョヘンザッ!!～』	8月27日・28日	出演者：板橋駿谷、北尾亘、永島敬三、福原冠	目標値	240
		小ホール		実績値	200
8	第七劇場「メディア」	12月10日・11日	構成・演出・美術：鳴海康平 出演者：木母千尋 ほか	目標値	385
		中ホール		実績値	325
9	朗読アウトリーチ M-PAD2022	11月16日～25日	出演者：林英世 ほか 演目：「二階」 ほか	目標値	448
		県内各地		実績値	420
10	東京デスロック「再生」劇団+現地バージョンツアー	7月23日・24日	出演者：夏目慎也 ほか	目標値	420
		小ホール		実績値	383
11	ミエ・演劇ラボ 2022 発表公演	10月15日・16日	構成・演出：柳沼昭徳 出演者：澤雅展 ほか	目標値	160
		小ホール		実績値	169

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>三重県文化会館が掲げる3つの社会的役割（ミッション）、①県文化施設群の中核施設としての役割発揮、②県リーディングホールとしての役割発揮、③「幸福実感日本一」の三重県を目指す芸術文化面での役割発揮に基づき、5か年の中長期事業計画を策定し、それをもとに毎年度の事業計画を立案している。</p> <p>令和4年度助成申請時には年度計画全64プログラムの中から、公演事業（11プログラム）、人材養成事業（4プログラム）、普及啓発事業（5プログラム）に助成申請を行ったものの、公演事業のみ採択され、人材養成事業と普及啓発事業は不採択となった。</p> <p>公演事業（11プログラム）は準備期間から本番まですべてのプログラムが計画通りのスケジュールで進行することができた。（公演事業番号5 子どものためのバレエ 東京バレエ団「ドン・キホーテの夢」については、実演団体側の他の文化庁助成と重複したため助成申請を取り下げ）</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>① 文化的意義</p> <p>オペラやオーケストラなど三重県ではここでしか観ることのできないハイレベルな公演の鑑賞機会提供をはじめ、演劇人養成を兼ねたクリエイション「さんぴん」「東京デスロック『再生』」「ミエ・演劇ラボ」と、鑑賞機会創出、人材養成、作品創造など文化的意義は極めて大きくかつ多角的に成果を生み出している。</p> <p>② 社会的意義</p> <p>「茂山狂言会」では名張市子ども狂言会が出演するなど、地域の伝統芸能の継承と発展、青少年健全育成を図っている。また、三重県には芸術文化専門の大学や芸術文化の学部・学科を設けている高等教育機関がないため、当館の演劇人養成を兼ねた制作事業は、未来の文化を担う人材養成の側面もあり、社会的意義は大きい。</p> <p>③ 経済的意義</p> <p>まちなかりーディングフェス「MPAD」は飲食店と連携したアウトリーチプログラムであり、商店街活性化や地域振興のイベントとして開催地域から期待されている。また、主催公演を主とした当館の目指す‘賑わいのある劇場づくり’によって、飲食店、交通機関、ホテルや観光業など地域経済への波及効果は極めて大きい。</p>

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

目標①：音楽ファン層の拡大を図る。

指標：自主制作・プロデュース公演 公演満足度（5段階評価上位2位）95%以上、来場者総数2,616人以上

実績：公演満足度96.4%、来場者総数1,665人

目標②オーケストラファン層の拡大を図る。

指標：新日本フィル定期公演 公演満足度（5段階評価上位2位）95%以上、平均入場者1,143人以上

実績：公演満足度99.0%、平均入場者1,188人

目標③演劇ファン層の拡大を図る。

指標：自主制作・プロデュース公演 公演満足度（5段階評価上位2位）90%以上、来場者総数1,157人以上

実績：公演満足度93.0%、来場者総数1,077人

目標④劇場鑑賞者の拡大を図る。

指標：ホール公演事業 年間公演満足度（5段階評価上位2位）95%以上、年間来場者総数15,000人以上

実績：年間公演満足度96.4%、年間来場者総数12,153人

目標⑤：新しい劇場ファンを創出する。

指標：「M-PAD」 事業満足度（5段階評価上位2位）90%以上、来場者総数460人以上

実績：事業満足度99.2%、来場者総数420人

目標⑥：アクセシビリティ向上を図る。

指標：英語版パンフレット配布公演数8公演、点字パンフレット配布公演数5公演

実績：英語版パンフレット配布公演数8公演、点字パンフレット配布公演数5公演

コロナ禍からの回復期ということもあり、いまだクラシック、演劇、伝統芸能など多くのジャンルでコロナ禍以前の集客水準には戻っておらず、来場者指標の多くは目標未達成に終わった。そんな中で目標②のオーケストラ公演については入場者指標を達成し、今後に向けての明るい兆しと捉えている。

満足度指標はすべて目標達成しており、良い作品を創造・招へいできていることと、当館の公演サービスのホスピタリティが高水準にあることが要因と捉えている。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和4年度事業計画10事業（助成対象事業）はコロナ禍の影響による中止は発生しなかった。また各事業の準備期間から本番まで大きなスケジュール変更はなく、計画通りの期間と開催日で事業を実施できた。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和4年度事業計画（助成対象事業）に対する実績は以下となった。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| ① 申請時総事業費 | 57,293,798円 |
| ② 実績総事業費  | 57,563,271円 |
| ③ 差額（①—②） | —269,473円   |

申請時の計画総事業費と実績総事業費はほぼ同額となった。コロナ禍の影響による公演中止が発生しなかったことと、予算策定時の積算作業の精度が向上したことにより、事業費は適切にコントロールされている。

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

音楽分野では地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団の三重定期公演や、東京から三重に拠点移動しワールドワイドに活躍する準フランチャイズカンパニー・第七劇場の新作演劇公演など、当館と深い結びつきのあるカンパニーとプログラムや作品について創意工夫し、三重でしか観られない魅力ある公演を企画している。また、芸術監督の役割を兼ね、任期22年超に及ぶ梶吉宏館長と音楽系のプロデューサーで、当館の看板事業となるシリーズの音楽公演を次々と立ち上げており、助成対象事業では「三重県文化会館 Produce シリーズ」に辻彩奈（ヴァイオリン）、阪田知樹（ピアノ）、小菅優（ピアノ）、5台ピアノ（中川賢一、田村緑ほか）をセレクトするなど、音楽事務所やアーティストとの長年にわたる人的関係から一流アーティストが出演する公演を企画・招へいしている。

演劇分野では演劇プロデューサーを兼ねた松浦茂之副館長と演劇係で、全国的にも類をみない特色ある演劇公演に取り組んでおり、地域の人々へのインタビューを重ね俳優のみで演劇を立ち上げるユニット「さんぴん」によるレジデンス型・人材養成型クリエーションをはじめ、市民参加・人材養成・作品創造を兼ねた3年超にわたる疑似劇団活動「ミエ演劇ラボ」、当館が幹事劇場となり非東京の地域劇場が共同制作する、地域演劇人の人材養成も兼ねた「東京デスロック『再生』劇団 ver. +地域 ver. 3都市ツアー」、食事と朗読（演劇）を組み合わせた地域活性型のアウトリーチ公演「MPAD」など、地域演劇の振興を図る独創的で先駆的な公演を企画している。

## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

音楽分野の公演事業（助成対象事業）では、地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団の三重定期公演、自主制作・プロデュース公演の「三重県文化会館 Produce シリーズ」、海外招へい作品「ハンガリー国立歌劇場オペラ『魔笛』」など多彩な公演に取り組み、いずれも観客アンケートでは目標を上回る高い満足度を得ることができた。

伝統芸能分野の「新春 茂山狂言会」では実演団体のみの演目ではなく、地元名張子ども狂言の会がプレステージに出演することで、地域文化の継承と発展、子どもたちの発表の場創出など、副次的な効果を創出している。

演劇分野では実演団体側と企画段階から密に協議を重ね、単なる公演鑑賞にとどまらない地域演劇活性化にもつながる演劇公演企画を次々に立ち上げている。

- 1) 演劇ユニット「さんぴん」では実演団体が2週間三重に滞在し、作品クリエーションとともに公開稽古（2回）、ワークショップ（5回）などの地域交流プログラムを組み、のべ83名の地元演劇人がプログラムに参加するなど、人材養成・普及啓発に大きな効果を創出している。
- 2) 準フランチャイズカンパニー「第七劇場」の新作公演では出演者オーディションを実施し、38名の応募者から5名が出演するなど、こちらも作品創造とともに人材養成の側面を兼ねた公演企画となっている。
- 3) 「東京デスロック『再生』」では現地 ver. をクリエーションし、34名の応募者から8名が出演し、作品創造・人材養成に取り組んでいる。
- 4) 3年超にわたる市民参加の疑似劇団活動「ミエ・演劇ラボ 2022」では、オーディションで選ばれた8名で劇団「ホニホニマー舎」を結成し、ファシリテーターの指導の下メンバーが脚本・演出・出演を担うことで、自立した演劇人養成に大きな効果を創出している。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当事業団は業界では数少ない ISO9000 の認証登録を受けている公益法人であり、組織と業務運営全般に P D C A サイクルに基づくマネジメントシステムが確立している。

#### 1) 事業運営

主催事業はすべて顧客アンケート結果を評価・分析し、集客数（参加者数）や事業収支と合わせて総合評価を行い、次年度以降の事業計画においてスクラップ&ビルドを行っている。

#### 2) 経営戦略

ISO9000 品質マネジメントシステムに基づき、中期経営計画及び年度事業計画を立案している。中期経営計画では 5 年間の経営ビジョンや目標を定め、中長期アクションプランに反映している。

#### 3) 人事戦略

ISO9000 品質マネジメントシステムに基づき、全体研修計画・部門研修計画・OJT 研修計画を立案している。年度末には個人目標に対する達成状況を主に人事査定を実施し、次年度以降の研修計画に活かしている。

#### 4) ネットワークの構築

事業連携や運営ノウハウの情報交換を目指し、幅広いネットワークを構築している。県内では公立文化施設協会の会長館として市町劇場と連携を図り、事業連携では劇場音楽堂等連絡協議会を主に、全国的に事業連携を図っている。